



pdasand batqaab nadagair daqar bqaatpand nadaaasb dak ardas
 僅かな出入りで豊かさが少なく、遠くない場所は自立地で、古い幾らか僅か集まりだったが、
 ナダクアア国は強く健闘した。

daqair ar and aadasb bqair b nadaqar daqar daum bqar dar aum
 自立地は土地ではあるが成長し、後の場所の人は自立地ではなかった。
 自立地の家は古い土地で農地を希望した。

bqanr aadaum aaqb daqar aaqb aasb nadaqar daqand aaqab kand
 古い蓄えの所有家は積極的で自立地を積極的に発展させた。
 無自立地ができ人が離れた後ではあったが。

sand dar dardaum aar ar qand daqaaz bqar dasand aasdaum and
 国土は農地であり、農家には幾らかの土地であった。
 土地が狭くて自立的になり、古い土地を争った。定まった家ではあったが。

b dar and daqaum aadaum qaadab paafaasb datqand daqardar daumqazi
 人の農地ではあるが自立希望の幾らかの家があった。
 少ない人々のプアアフアア国は、決りではあるが、自立地の農地や家を小さくできた。

faadasand bada qtsb qtsb daqdaum aasb
 大きな争いは悪いクト国だった。クト国は自立家で発展した。

faatsar aatdaumqtsb aadasb qbasb nadafaasb nadaqaasb daumqar sazi
大きくないボスは家を加えてクト国とし幾らか成長してクバ国、ナダフアア国、
ナダクアア国となり、家を狭い土地に纏めることができた。

saabqtb aar aatqvaar dasak vaaum datttk patdasb nadaqttdasb
幾らかの古い国は所有地で、少しを加えた傍の土地への出入地は、
希望に従い表向きの契約で、パトダ国、ナダクツツダ国だった。

said aatqb sar aaqab saum nadaqda umqttsb sar qand sb qaz
長老は地域を加え土地を集めたが人が離れ、指導者は自立せずに小さく、ウムクツツ国の
ボスは小さいが国を小さくできた。

sair daqaum nadaqar ar arai daar dasand daqttb sar aas daum
日光は自立希望にあり、無自立地の土地は次々と土地が僅かになった。
小さな土地を争ったが、自立的なボスは定まった家であった。

umaadar aatb qttsb sb nadaqaum daqazi satabasb dafata dafatasiid
色々な所有農地に人が増えクツツ国は国に自立希望が無くても自立可能だった。
サアタバ国は豊かに食べられ豊かに食べる種があった。

daaid qab sum daind sand daqand aatumaum nadaqand daqaid r
小さな援助で地震の結果を支える国土が成立した。
色々な希望を集めて奴連合が成立し周りを(纏めた)。

umaasaum daqab sand dafdaum dafar aid
色々定まった希望に費用を掛け、国土の豊かな家は豊かな土地を手入れした。

恐らくはこのお話は、事実としたら、紀元前後の頃の事です。